

平和の言葉を 自分たちで創る ということ・続

池田丈佑 (東北学院大学 法学部)

本日の 内容

「柱」となることばを選び出す
(10個程度)

それを平和都市宣言の「型」に
はめてみる

この町で何ができるか
案を出してみる

声を 拾う (5-7月)

【平和とは何か】

- ・ 争いがないこと、幸せであること

【特に大切なことは何か】

- ・ 「生きる条件」の不足に苦しまない
- ・ 多様な人々が多様なまま暮らせる
- ・ 戦争がない

【そのために何をすることが大事か】

- ・ 「毎日の心がけ」
「日常生活の延長」
「一般論」 を尊重しつつ、その先へ

そして 考えた (前回)

1 平和の範囲は広い (広すぎる)

2 身近な平和と遠くの平和

地域と心の豊かさ

身近にある非・平和
遠くで起こる非・平和

3 みんなが_____ であること

4 「今ある平和」と「それを超える平和」
(「維持する平和」と「創り出す平和」)

5 「知る」「互いを理解する」「発信する」

平和
都市
宣言の
「型」

平和は人類の願いで
あることを確認する

自分たちの街の
すばらしさを謳う

「だが、戦争はあとを絶たない」

私たちの使命、意思

平和都市である
ことを宣言する

私たちが目指すもの
を列挙する
(戦争放棄、憲法尊重、
非核、多様性)

ここからはワークです

今日の
ワーク

宣言に「絶対」載せたい言葉を
10個、挙げて下さい

その言葉は、「型」のどこに
入りそうですか？

引き
続きの
宿題

「妄想」してください。
この冬できあがる「宣言」を使って、
どんな取り組みができるでしょうか？

ポイント1 制約を考えない
ポイント2 複数の人で行う催し
ポイント3 市役所は直接関わらない

今回も、あなたの近くにいる
どなたかお一人（お二人でも）に
ご協力をお願いして下さい。